

発行

日本水

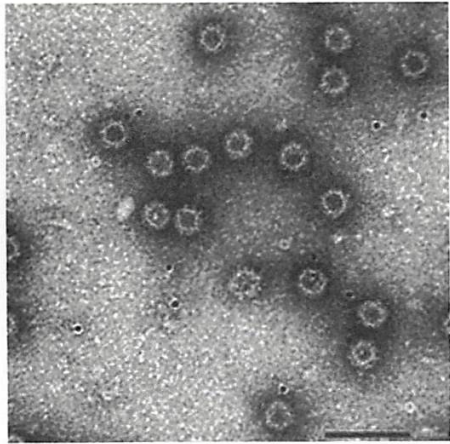
http://www.suic

本社：〒102-0074 東京都
水道編集部直通 ☎03(3264)6721
E-mail: g-pen@suid

大阪支社：〒541-0051 大阪市
☎06(6125)3630

日本下水道新聞

ノロウイルス 塩素が苦手



ノロウイルス粒子の電子顕微鏡像写真

消毒で新型の出現確率低下

東北大らが証明

東北大学大学院環境科学 した。研究には、東北大の研究科の佐野大輔准教授ら ほか、北海道大学、愛媛大学の研究グループは4月27 日、ノロウイルスに対し塩素消毒を行うことで、新型ノロウイルスに進化する発 生確率を低下させることが可能だと世界で初めて証明

した。研究には、東北大のほか、北海道大学、愛媛大学の研究グループは、試験用ノロウイルスを、培養と塩素消毒を繰り返すグループ、塩素消毒を行わずに培養と希釈

を繰り返すグループに分け、それぞれ10回のサイクルを繰り返し、遺伝子構造の変化を調査した。

その結果、塩素消毒を実施しなかったグループには大きな変化が見られなかった一方、塩素消毒を実施したグループは、ウイルスを包むタンパク質に変化が生じており、その変化にも同様の傾向が見られた。また、進化の傾向も近接していることがわかった。

ノロウイルスは、進化の過程で多くの種類が出現しており、その多様性がウイルスが生き残るための要となっている。

研究では、塩素消毒にノロウイルスの遺伝的な多様性を抑える効果があることがわかったことで、処理場などノロウイルスが集積しやすい場所で塩素消毒を行うことが、新型ノロウイルスの発生を抑える効果的な手法だとされている。